

2025 年 10 月 9 日

各 位

会 社 名 株式会社 坪田ラボ
代表者名 代表取締役社長 坪田 一男
(コード番号：4890 東証グロース市場)
問合せ先 企画管理本部マネージャー 木下 淳
(TEL 03-6384-2866)

マイボーム腺機能不全治療薬 TLM-001、Phase 2a 試験移行のお知らせ

開発加速に向けた重要なマイルストーン達成

株式会社坪田ラボ（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：坪田一男）は、現在開発中の新しいマイボーム腺機能不全（MGD を伴うドライアイ）治療薬 TLM-001 について、マルホ株式会社（本社：大阪市北区、代表取締役社長：杉田淳）と締結しているライセンス契約に基づき、Phase 2a 試験への移行を達成条件とするマイルストーンを受領しました。**本成果は、世界的に拡大するドライアイ市場において、新規作用機序に基づく初の治療法創出に向けた大きな前進であり、当社の成長戦略における重要な転機となります。**

➤ MGD を伴うドライアイと TLM-001 について

MGD（マイボーム腺機能不全）を伴うドライアイは、涙液に含まれる油分を分泌するマイボーム腺が詰まることで油層が不安定になり、涙液の蒸発を防げなくなるドライアイの一種です。本疾患では、眼表面に炎症や不快感を引き起こし、慢性的な視機能低下や疼痛症状が現れます。国内外で患者数が増加しており、慢性的な視機能低下や生活の質（QOL）低下を招く深刻な医療ニーズがあります。

当社は、ビタミン D 関連物質にマイボーム腺機能を回復させる新たな作用を見出し、これを有効成分とする眼軟膏製剤 TLM-001 を開発しております。本剤は、涙液油層を安定化させることにより、「目の乾き」や「異物感」などの症状改善を目指す、新規性の高い治療薬候補です。

➤ マルホ株式会社とのパートナーシップ

当社は、皮膚科領域・外用剤に強みを持つマルホ株式会社と、TLM-001 の日本、米国、欧州およびアジアでの開発および商業化に関するライセンス契約を締結しており、両社が連携して開発を推進しています。今回の Phase 2a 移行は、本プログラムにおける重要なマイルストーンであり、患者さんに新たな治療選択肢を届けるための大きな一歩となります。

➤ 業績への影響

今回のマイルストーン収入は規模としては限定的ですが、開発は計画どおり順調に進展しております。なお、本件はすでに公表済みの 2026 年 3 月期業績予想に織り込み済みであ

り、業績予想の修正はありません。ただし、今後の開発進展に伴う追加マイルストーンやロイヤリティ収入の可能性が、当社の中長期的な成長基盤をさらに強化すると期待されます。

➤ 今後の展望

MGD を伴うドライアイは世界的に患者数が増加傾向にあり、眼科領域におけるアンメットメディカルニーズの高い代表的な疾患です。当社は引き続きマルホ株式会社との緊密な連携のもと、TLM-001 の臨床開発を加速させ、患者さんに新しい治療法を届けるべく取り組んでまいります。加えて、本プログラムの進展は当社の成長戦略の中核であり、企業価値の更なる向上にも寄与すると考えております。

以上